

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2頁 共同宣教司牧を体験して 丹波教会

6頁 2002年度司祭の異動

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



沖へ－挑戦

私たちには、それいろいろな使徒職の派遣をうけ、今までそれなりにやってきました。しかし、いつしか、自分のやり方が出来上がり、ときにそれが新しい事態に取り組む際の自由な発想を妨げ、障害になることがあります。

ベトロは、ベテランの漁師としての知識を捨てて、船を出しました。この「沖へ」という深い意味から、私は、このイエス様の命令のなかに、神が指示する深い神秘の中へと勇気をもって飛び込んでいくようという招きを感じ取ります。ですから、私たちは、この招きに挑戦するのです。未知だから、挑戦するのです。单なる自分のやり方の応用ではなく、まったく白紙の状態での挑戦なのです。

さて、当然そこには試行錯誤の試練が待っています。しかし、神は私たちが、神の招きに恐れずに立ち向かう勇気を奮い起こす信仰の従順を求めておられます。(一月四日の大塚司教の説教より)

(写真は、昨年末の教区中学生会の合宿時のもので)

**3
2002**

共同宣教司牧を体験して

丹波教会 山 本 彰

私の所属する丹波教会が、共同宣教司牧に加わって一年が経とうとしています。「京都南部地区西ブロック」と呼ばれている私たちの司牧チームは、四教会で構成されています。西院教会と入れ替わり、丹波教会が加わるまでのこの西ブロックは、言わば共同宣教司牧の草分け的存在で、多くの実績を経て来っていました。そこに経験の全くない小教区が加わる訳ですから、互いの内に不安やとまどいが少なからずあったものと思われます。ましてや、丹波教会そのものが誕生して間もない小教区だったのです。

○共同宣教司牧に加わるまで
丹波教会は、その前身である「亀岡教会」と「園部教会」が統合され、一九九九年四月に設立されました。小教区の統合が論じられ出して久しいのですが、その当時の私たち両教会に対しては、ある程度統合への情報はもたらされ

ていました。事実、その前までの六年間に及ぶ兼任司牧期間を通して得た両小教区の交流は、新教会誕生への良い助走となっていました。もちろん長い間培われてきた互いの歴史を通した習慣や組織の変更には、ある程度の不満が生じたことも正直に述べなければなりません。しかし、それらによって統合への流れが止められる事はありませんでした。後に、司教様が記した言葉を通して私たちの体験した小教区統合の意味が説明さ

れています。

「小教区の統合は、教会建物に依存しない私たち一人一人が福音宣教する主体になるという意味で、時代の転換期に臨んでの次世代に対する責任ある建設的な選択となるのです。」

（一九九九年十二月・教区時報）

○これからの課題

京都南部地区西ブロックの私たちが取り組んだのは、「共同宣教司牧とは何か?」ということでした。当時の西ブロックの担当司祭は溢れかえっていました。その場で宣言されたビジョンの内容をここで詳しく書き記すことは紙面上

果的になりました。この間、私たちが取り組んだのは、「共同宣教司牧とは何か?」ということでした。当時の西ブロックの担当司祭は溢れかえっていました。その場で宣言されたビジョンの内容をどこを通じて、そのことの理解に努力をしてきました。しかし結果として、充分な理解を持ちえないまま、チームとの合流を迎えたというのが当時の状況だったと思います。

そのような時、教区時報に掲載された二〇〇一年の司教年頭書簡は、むずかしかったのですが私たちは、むずかしかったのですが私たちにとって共同宣教司牧の理解へりません。しかし、それらによって統合への流れが止められる事はありませんでした。後に、司教様が記した言葉を通して私たちの体験した小教区統合の意味が説明さ

れていました。

○共同宣教司牧への合流

正式にチームに加わるまでに、迎え、私たちの「共同宣教司牧ビジョン」の発表会を開催しました。

その日は長岡教会創立三十五周年記念ミサも兼ねていましたので、四教会からの多くの参加者で会場は溢れかえっていました。その場で詳しく述べたビジョンの内容をこ

こで詳しく書き記すことは紙面上かないませんが、（本年教区時報二月号六ページ参照）編集部注この日が宣教型共同体となってゆく決意と実践の第一歩となつたのではないかと思っています。

さて新たな年を迎えた今、西ブロックは、そのビジョンの実践をめでたす年となりました。西ブロックは、そのビジョンの実践をめでたす年となりました。幸いにも、西ブロックチームとしてもこの書簡をふまえ、確かに担当司祭主導ではありましたが、宣教型共同体への姿勢を打ち出すための動きが起こって来ました。丹波教会においても、このブロックに歩調を合わせるべく分かち合い等を重ね、又、ブロック単位の合同ミサや合同行事への参加などの体験のうちに、現在に至っています。



教区中学生会の合宿を振り返って

青年センター専従 佐藤紀子

去る一月二十二日(土)に、西院

りました。

カトリック会館内にある青年センタにて、中学生会の座談会が行わされました。

中学生会にかかわってきてくれた青年リーダー・担当司祭を囲んで、今までの中学生会を振り返り、そしてこれからの方々を皆で話し合う機会となりました。

◆『楽しかった』

先日の座談会では、まず今までの中学生会の合宿を通して良かったこと、悪かったことをリーダーたちとともに振り返りました。そこで、ほとんどのリーダーの口から出てきた言葉は、

『楽しかった』

この一言でした。この言葉は、私自身が五年という歳月の中で忘れていた大切なことに気付かせてくれたのでした。

『楽しかった』。この一言だけで中学生会の合宿を総括するには教区の中学生会のリーダーとして相応しくないと思う方がいるかもしれません。カトリック教会の合宿として、それも中学生をリードする立場の青年リーダーが、ただ

個的な話になりますが、私自身が中学生会とかかわりを持つようになって五年になります。自分が中学生の頃には、実際に合宿に参加したことはなかったのですが、教区高校生会からのつながりで、大学生になってリーダーをすることになりました。

この間に、私自身も短大を卒業・就職と一度は中学生会から離れた時期もあったのですが、二年前から青年センターの専従をしている関係で、現在はリーダーに復帰しております。

私が学生の頃からかかわり続けてきたこの教区中学生会も、五年という歳月の中で大きな変化があ

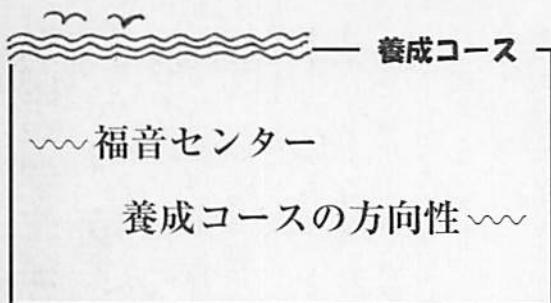


『樂しかった』だけでは不十分かもしれません。しかし、合宿の中でリーダーをするのは、主に大学を中心とした青年です。そのほとんどは、私も含めて幼児洗礼ですか。信教教育という点で考えると、私たちの多くは小学生時代に教会の日曜学校で教えてもらった知識しかありません。また、中学生に教会や神さまのことなどを教える術も持ち合わせておりません。

生を中心とした青年です。そのほとんどは、私も含めて幼児洗礼ですか。信教教育という点で考えると、私たちの多くは小学生時代に教会の日曜学校で教えてもらった知識しかありません。また、中学生に教会や神さまのことなどを教える術も持ち合わせておりません。

私は、中学生会の主人公は中学生自身であると思います。中学生のみなさんにも、合宿を通して直感的に感じ取ってほしいのです。リーダーたちが感じたように、その楽しさを通して、イエスが、私たちを愛してくださっていることを、実感してもらいたいのです。中学生の一人一人が、互いにかけがえのない大切な存在であることを感じてほしいのです。先生としても実感してほしいのです。先生としてではなく、兄や姉のような身近な存在として。

私は、中学生会の主人公は中学生自身であると思います。中学生のみなさんにも、合宿を通して直感的に感じ取ってほしいのです。リーダーたちが感じたように、その楽しさを通して、イエスが、私たちを愛してくださっていることを、実感してもらいたいのです。中学生の一人一人が、互いにかけがえのない大切な存在であることを感じてほしいのです。先生としても実感してほしいのです。先生としてではなく、兄や姉のような身近な存在として。

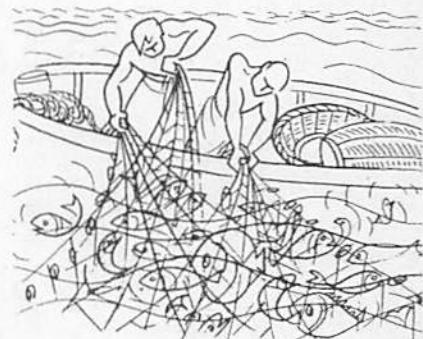


カトリック 福音センター ニュース



～沖に漕ぎ出し共に網を降ろす～

福音センターでは、今年も大塚司教様の年頭書簡「沖に漕ぎ出しなさい」の呼びかけを受け止め、その流れ（主旨）をくんで私たちが福音宣教共同体へと成長発展していくような研修内容に取り組んでいきます。私たちがみことばに耳を傾け、ともにききあい、学び合える場としての養成コースを準備して参ります。



具体的には

- ☆キリストのことばをきき、祈りと観想の体験を通して信仰を確かめ深め、内面から新たにしていく……祈りのコース。
 - ☆教会・個人が社会の隣人となっていく……病人訪問コース。
 - ☆神さまとの交わりを大切にした、礼拝する共同体と同時に派遣されている使命に目覚める……典礼コース。
 - ☆自己の内面の深みに入って、感性を豊かにする……自己発見コース。
- 等々を準備しています。

どのコースも

1. キリストのみことばの学び
2. 祈り
3. 分かち合い
4. 主における交わりを大切に、テーマに沿った講師とスタッフチームを組んで実施しています。

今の社会の新しいニーズに応じて歩もうとしている京都教区の方針とニーズに沿って
共に漕ぎ出し漁ができる事を願っていきたいと思います。

福音センターの活動はみな様の援助に支えられています。
おかげさまで**2001年度 援助金総額**
2,209,902円 頂きました。
みなさまの温かいご支援を感謝しています。



「復活の主に遣わされて」

～イエスの与える平和から来る弟子の力～

イエスが復活して弟子たちのところに来られたのは夜でした。弟子達は恐れていました。ユダヤ人を恐れてぴったりと家の戸を閉めていました。これが復活の日の弟子たちの有様でした。しかし、そこへ復活したイエスが彼らの真ん中に来られ「あなたがたに平和があるように」と呼び掛けられました。「平和があるように」と、現代でもイスラエルの人々は挨拶する時にそう言います。

イエスの訪れとそのことばによって弟子たちの恐れが取り去られ、大きな喜びに変わったのです。彼らは、恐れや、イエスへの裏切りのために、打ちのめされ、挫折し、悲しんでいました。絶望の中にあった時、復活されたイエスが彼らの中に立ち「あなたがたに平和があるように」と呼びかけてくださったのです。

イエスは弟子たちに平和をもたらすと同時に、使命をお与えになります。イエスは、「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」と言われます。

キリストによる派遣、キリストがお与えになる平和は弟子たちの力となります。復活されたキリストは共におられるという確信は弟子たちを宣教へ駆り立てます。

イエスは二千年前、弟子たちに使命を与え、お遣わしになったように、この京都教区の教会に属しているわたしたちにも、使命を与え、遣わしてくださるのです。現代福音宣教の新しいニーズに答えるため「共同宣教司牧」を理解し、勇気を持って推進せよという神の使命が与えられていると思います。

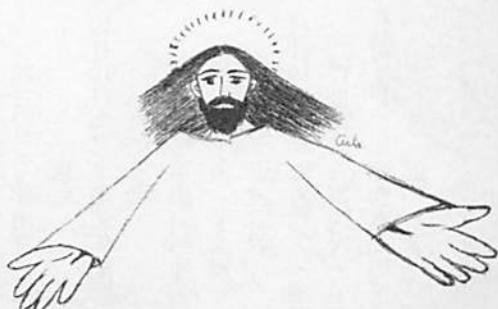
～イエスのことばに信頼して～

大塚司教様は、2002年の「司教年頭書簡」に述べておられますように、「共同宣教司牧には、モデルがありません」。そのために未知の世界を目の前にして不安を感じたり、今までのやり方にこだわったりします。しかし、弟子たちの知らなかった「全世界」に遣わされたキリストは、共にいてくださり、その平和をくださるのです。

イエスの「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」ということばに対してペトロが「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、おことばですから、網を降ろしてみましょう」と答えます。わたしたちもペトロにならって、「先生、共同宣教司牧をすすめるに当たって、不安がたくさんあります。しかし、おことばですから進みましょう」といえるようになりたいものです。

今月のことば

「わたしを強めてくださる方のお陰で、
わたしにはすべてが可能です」
(フィリピ 4:13)



二〇〇一年度司祭の異動

I、異動(四月一日付)

- 三宅秀和師(旧任命) カトリック
学校教育専任
- 滋賀地区湖西ブロック共同宣教司
牧担当司祭、信仰教育委員会、
聖書委員会 担当司祭を兼任
- 西野猛生師(旧任命) 研修休暇
共同宣教司牧推進チーム専任司祭、
正義と平和京都協議会担当司祭を
兼任
- J・ヒル師(旧任命) 奈良地区
南部ブロック担当司祭
- 奈良地区南部ブロック 協力司祭
- II、新しい職務の追加任命
- 北村善朗師(宇治・青谷・田辺・
精華共同宣教司牧担当司祭 他、
従来の任命職務に加えて)
- 教区本部事務局長(法人規則によ
り法人責任役員)を兼任(四月一
日付)
- 福岡一穂師(京都南部西ブロック
共同宣教司牧担当司祭 他、従来の
任命職務に加えて)

- 牧担当司祭、信仰教育委員会、
聖書委員会 担当司祭を兼任
- 西野猛生師(旧任命) 研修休暇
共同宣教司牧推進チーム専任司祭、
正義と平和京都協議会担当司祭を
兼任
- J・ヒル師(旧任命) 奈良地区
南部ブロック担当司祭
- 奈良地区南部ブロック 协力司祭
- III、司祭の教区外転出
- 外崎 豊師(宇治・青谷・田辺・
精華共同宣教司牧担当司祭 他、
従来の任命職務に加えて)
- カトリック福音センター担当司祭、
生涯養成担当チームを兼任(四月
一日付)
- 小野十益師(京都南部東ブロック
共同宣教司牧協力司祭 学校法人
担当 他、従来の任命職務に加え
て)
- 京都教区カトリック幼稚園連盟
担当司祭を兼任(四月一日付)
- 一場 修師(奈良南部ブロック共
同宣教司牧担当司祭 他、従来の
任命職務に加えて)
- 信仰教育委員会(四月一日付)、
アジア体験学習(一月一日付)担
当司祭を兼任
- 松本秀友師(奈良北部ブロック共
同宣教司牧担当司祭 他、従来の
任命職務に加えて)

- 谷口秀夫師(京都北部宮津ブロッ
ク共同宣教司牧担当司祭 他、従
来の任命職務に加えて)
- 聖書委員会担当司祭を兼任(四月
一日付)
- 柳本 昭師(瀧野正三郎師(従来
の任命職務に加えて)
- カトリック青年センター担当司祭
を兼任(一月一日付)
- 外崎 豊師(宇治・青谷・田辺・
精華共同宣教司牧担当司祭 他、
従来の任命職務に加えて)
- カトリック福音センター担当司祭、
生涯養成担当チームを兼任(四月
一日付)
- ハイメ・ラレス師(旧任命) 滋賀
地区湖西ブロック担当、福音セン
ター所長
- 転出(四月一日付)
- 森田直樹師(旧任命 教区本部事
務局長)
- 米国留学(二〇〇二年四月一日)
9月15日(日)京都南部地区・
南(伏見桃山八幡)
- 7月7日(日)三重地区・北勢
14日(日)京都北部地区・
舞鶴
- 4月21日(日)奈良地区・南部
6月9日(日)三重地区・南勢
30日(日)京都南部地区・
西
- 16日(日)滋賀地区・湖東

**共同宣教司牧ブロック
司教訪問 ミサと集会**



12月1日(日)京都南部地区・ 北	10月13日(日)京都北部地区・ 宮津	11月10日(日)滋賀地区・湖西 南(宇治青谷田辺・精華)	17日(日)三重地区・中勢
20日(日)京都南部地区・ 南(宇治青谷田辺・精華)	22日(日)奈良地区・北部 東	29日(日)京都南部地区・ 南(伏見桃山八幡)	9月15日(日)京都南部地区・ 南(伏見桃山八幡)
11月10日(日)滋賀地区・湖西 南(宇治青谷田辺・精華)	10月13日(日)京都北部地区・ 宮津	11月10日(日)滋賀地区・湖西 南(宇治青谷田辺・精華)	12月1日(日)京都南部地区・ 北
12月1日(日)京都南部地区・ 北	10月13日(日)京都北部地区・ 宮津	11月10日(日)滋賀地区・湖西 南(宇治青谷田辺・精華)	12月1日(日)京都南部地区・ 北

こんなにちはシスター

ヌヴェール愛徳修道会

九条修道院

(写真右から)

Sr 東
黒田恵美子
光子



りのメンバーとして共に働き、在日外国人の方々との交流は大切なふれあいの時です。ホームヘルパーとして、一人暮らしの高齢者、病人の介護、孤独な方々との交わりを深めています。

ヌヴェール愛徳修道会は、一六

八〇年ベネディクト会士であるジャン・バブテスト・ドランヌ神父が、フランス、サンソージュでルイ十四世時代、戦争のため悲惨な状況にある貧しい人々への奉仕のため創立しました。現在、世界十五カ国でシスターが働いています。日本創立は一九二二年で、京都、大阪、東京、川崎、神戸、小田原で人々の痛みを様々な形で分かち合いながら存在しています。

創立者は、「愛以外いかなることも関わってはなりません。」「不幸な人々以外のことに決して関心をもつてはなりません。」「ただ手を開くだけではなく更に腹の底、心の底まですべてを開きなさい。」と呼びかけています。私たちの姉妹聖ベルナデッタもこの叫びを通して祈りの内にキリストの愛の秘義に導いてくれます。私たちは置かれた場で今日を祈りと働きのうちに過ごします。

私たち二人は、十九年前東九条に創立された九条修道院に派遣されています。地域福祉センター希望の家との関わりは三十六年前からで、姉妹たちは藤ノ森の本部から通っていました。現在、希望の家児童館で厚生員として、日本社会の変動の波間にあり多様化していく地域で家庭訪問、子育て相談、高齢者訪問、地域改善対策、町作

福祉の窓

希望の家
カトリック保育園
共に生きる喜び

一異質性尊重の保育一

地域に根ざした保育を目指して三十五周年を迎えました。デ

フリー神父、故マンティカ神父が、京都駅裏、東九条地域に住む、貧しく差別の中で呻吟している地域住民の乳児から老年寄

りまで、全ての人に対する愛による奉仕活動を展開されました。福祉センター希望の家や、特別養護老人ホームのぞみの園、そして保育園がその中で育つてきました。

しかし東九条は社会問題が山積しているにも拘わらず、市行政から放置され続けた結果、典型的な高齢少子化の地域になりました。ようやくここ十年の間に住宅、環境改善が着手されていました。カリタス会の三施設が連携して、地域への福祉活動を展開しているところです。



〒601-8006
京都市南区東九条東岩本町28
電話075(681)6881
FAX075(691)9581

◎保育内容
◎自然と親しみ、身体いっぱい遊び、異質性を尊重し、人権を大切にする心を育てる

◎地域子育て支援ステーション
講座、東九条マダム(ひろば)
への参画(地域まつり)
毎月、老人交流、幼児交流、配食のお手伝い、子育て相談、

お
知
ら
せ

○集会司式者・聖体奉

仕者勉強会

16日(土)14時

河原町教会

○奥村豊司祭叙階式

21日(木)12時

河原町司教座聖堂

○聖香油ミサ

27日(水)11時

河原町司教座聖堂

○復活の主日

31日(日)

教区委員会から

◆信仰教育委員会▼侍者合宿25日

(月)～27日(水)

◆聖書委員会▼聖書深読9日(土)

北村善朗師10時～16時 場所 河

原町カトリック会館6階 費用二

五〇〇円(昼食代を含む)、持参

品 聖書・筆記用具・ノート(お申込みは5日前まで)

小教区から

◆唐崎教会▼黙想会10日(日)10時

(土)

日(土)

◆聖母学院小学校▼卒業式16日

22日

◆洛星中高等学校▼中学卒業式23

日(土)

◆ノートルダム学院小学校▼卒業

式15日(金)

◆聖母教育文化センター▼巡礼の旅(大阪周辺のキリストンシリーズ第5回)10日(日)13時～16時

場所 聖母学院 巡礼コースアド

バイザー 三俣俊二氏 内容 祈りと講義(大阪周辺のキリストンシリーズのまとめ)▼ホームヘル

パ-2級養成講座4月～9月(受付中)講義 毎週土曜日 9時～16時(16回) 実習 平日連続5日間 料金六万円(予定)▼出版予定「ルード巡礼の旅」—ベルナデッタをたずねて—予定価格 千五百円▼

イタリア巡礼旅行「聖フランシスコに倣いて」8月20日～28日

料金三十四万八千円(予定)▼上海

ホーリーステイの旅「ホーリースティで本場の餃子作りを学ぶ旅」3日

(日)～7日(木)▼以上問合せ電話

075(643)2320

諸施設・諸活動から

◆JOC▼集会14日(木)、23日

(土)19時半～21時 京都働く人の

家(九条教会前) フリー ター や、

働く予定のある青年も歓迎します。

問合せ 岩崎裕二

090(8193)0808

◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体贊美式 第一日曜日17時半衣笠カル教会、第三土曜日16時半衣笠カルメル修道会

◆部落問題委員会・正義と平和京都協議会▼春期合宿2日(土)～3日(日)高松市国立療養所大島青松園 講師 和泉真造(大島青松園外科医長・熊本地裁原告証人)

◆大津教会▼黙想会17日(日)9時ミサ後 指導リマクドネル師(メリノール会)

◆河原町教会▼18日(月)～23日(土)ご復活準備早朝礼拝会

◆西陣教会▼信睦二金会第二金曜日10時15分

◆京都ノートルダム女子大学▼卒業式14日(木)

◆聖母女学院短期大学▼卒業式13日(水)

◆海星中学・高等学校▼高校卒業式1日▼中学修了式18日

◆セントヨゼフ女子学院高等学校▼高校卒業式2日(土)▼聖ヨゼフの日・終業式19日(火)

◆日星高等学校▼専攻科卒業式8日(金)

◆ノートルダム女学院中学高等学校▼中学卒業式22日

◆メリノール女学院中学・高等学校▼高校卒業式1日▼中学修了式22日

◆JOC▼集会14日(木)、23日

(土)19時半～21時 京都働く人の

家(九条教会前) フリー ター や、

働く予定のある青年も歓迎します。

問合せ 岩崎裕二

090(8193)0808

▼指導者研修会3日(日)▼第22回
宗教トレーニングキャンプ22日
(金)~24日(日)

◆カナの会▼結婚相談室・例会3
日(日)

◆京都カトリック混声合唱団▼リ
ハーサル7日(木)、9日(土)▼チャ
リティコンサート10日(日)14時半

河原町大聖堂▼練習日23日(土)19
時 河原町会館6階

◆京都キリスト研究会▼定例会
24日14時

◆コロチエレステ▼練習第2、
第4、第5木曜日 河原町教会地
下ホール

◆在世フランシスコ会▼京都兄弟
会16日(土)13時半フランシスコの
家

◆聖ビンセンシオ・ア・パウロ会
▼例会(河原町協議会)10日河原町
教会▼京都中央理事会24日河原町
教会

◆糠みその会▼例会28日(木)19時
45分九条教会ホール

◆レジオ・マリエコミチウム第3
日曜日河原町会館6階ホール▼ア
チエス3月17日(日)河原町教会聖
堂

◆「一万匹の蟻運動」基金報告
累計三一、六八三、八八四円
(1月15日現在)

今年、金・銀祝を迎える 日本全国の司教・司祭人数

司教	司祭	金祝
鹿児島司教区	淳心会	一名
那覇司教区	クラレチアン宣教会	一名
	御受難修道会	一名
	レデンブトール会	一名
仙台司教区	深町真理子訳	一名
浦和司教区	『神さまはハーレーに乗ってー ある魂の寓話』	一名
東京大司教区	角川書店 1996	四名
横浜司教区		三名
福岡司教区		二名
長崎大司教区		二名
大阪大司教区		二名
メリノール宣教会		二名
ミラノ外国宣教会		二名
サレジオ修道会		二名
聖心布教会		二名
イエズス会		二名
神言修道会		二名
聖ザベリオ修道会		二名
カルメル修道会		二名
フランシスコ会		二名
オブレート会		二名
マリア会		二名
聖コロンバン会		二名
聖パウロ修道会		二名

(中央協広報部からの報告による)

良書紹介

★昔、主は水辺に立った。
今、主はバイクに乗った!?

ブレイディ・ジョーン著

深町真理子訳

『神さまはハーレーに乗ってー
ある魂の寓話』

角川書店 1996

たまには神さまについて書かれた小説はいかがでしようか?
次のような状況にある方には特にお勧めします。

・人生の分岐点に立っている方
・仕事がつまらないと感じる方
・ライフスタイルを変えたい方
・シンプルに生活したい方
・恋愛に疲れた方
・理屈っぽいと言われた方
・ダイエットが必要と思う方
・自分さがしを必要と思う方
・そのような思いのあなたの前に、突然主が現れたとしたなら、どうなるでしょうか。そして、あなたのため、アドバイスを

ください、温かさでつぶんでく
ださったなら、どんなでしよう
か。

くバーで独り酒を飲む三十七歳の前に、ある、ひょんな出来事から、神と名乗るハーレーに乗った男が現れる。彼は、彼女が本当の生き方を見つけるために現れたのだという。

いかがわしく感じながら、彼の魅力に次第に引き込まれたクリスは、そのアドバイスに耳を傾ける。その後、彼女の生活に変化が……。

好きだけれども忙しすぎる看護婦という仕事、高額の家賃を払っているマンション、思い出のためだけに取つてある膨大な洋服や本……。次第にクリスは自らのばかげた虚榮心に気づき、本当に自分の人生に必要なものは何なのかに目覚め始める……。シンプルに生きたいと願うあなたに贈る、心暖まる魂の寓話です。

新書版は税込千三百円、文庫版は税別四百九十五円で角川文庫より発行されています。

大塚司教の

3月のスケジュール

1日(金)メリノール女子学院高校卒業式	19日(火)カリタス会理事会14時
2日(土)教区カトリック協議会14時	20日(水)司教顧問会・責任役員会10時半
4日(月)長岡幼稚園感謝の祈り(河原町)10時	司祭評議会14時
5日(火)東京カトリック神学院年次総括	21日(木)奥村豊司祭叙階式(河原町司教座聖堂)12時
6日(水)東京カトリック神学院年次総括	22日(金)教区幼稚園保育者研修会ミサ10時
7日(木)中央協常任司教委員会10時	24日(日)京都教区青年の日カテキズム集会
12日(火)大阪京都合同司教顧問会	25日(月)~27日(水)侍者合宿
13日(水)聖母短大卒業式10時	28日(木)聖体曜日・主の晚餐(河原町)19時
14日(木)ノートルダム女子大卒業式10時	29日(金)聖金曜日・主の受難(河原町)19時
15日(金)ノートルダム小学校卒業式10時	30日(土)聖土曜日・復活徹夜祭(河原町)19時
16日(土)聖母小学校卒業式10時	31日(日)主の復活司教ミサ10時半(河原町)
午後中央協	
14時	
京都・京都南学法理事会	
15日(金)ノートルダム小学校卒業式10時	
午後中央協	
14時	
16日(土)聖母小学校卒業式10時	
聖体奉仕者勉強会14時	



◎四旬節とは、じっくり典礼を味わう(旬のものを四回も?)季節です。(Y・T)

17日(日)ノートルダム修道女会初誓願式ミサ(マリア・ドミニカ・仙頭知江美)

誓願式ミサ(マリア・ド

19日(火)カリタス会理事会14時

20日(水)司教顧問会・責任役員会

10時半

司祭評議会14時

4日(月)長岡幼稚園感謝の祈り(河原町)10時

21日(木)奥村豊司祭叙階式(河原町司教座聖堂)12時

5日(火)東京カトリック神学院年次総括

22日(金)教区幼稚園保育者研修会ミサ10時

6日(水)東京カトリック神学院年次総括

24日(日)京都教区青年の日カテキズム集会

7日(木)中央協常任司教委員会10時

25日(月)~27日(水)侍者合宿

8日(金)聖金曜日・主の晚餐(河原町)19時

28日(木)聖体曜日・主の晚餐(河原町)19時

9日(土)聖土曜日・復活徹夜祭(河原町)19時

30日(日)主の復活司教ミサ10時半(河原町)

青年センター

専従者 佐藤紀子

2年間の専従の日々。それを一言で表すならば、対決の日々でした。

私がこの世に生を受け、覚えている限りの記憶を辿ると、もう、その時点で教会に足を踏み入れていました。でも、なぜキリスト教なのか、なぜカトリック信仰であったのか、そんなことには一切の疑問を持たず、ただ、踏み入れたその場所の居心地の良さに、何の疑いもなく、通っていたのでした。思い起こせば、専従を勤める最初の動機も、その居心地の良さだったからかもしれません。

でも、私ももう二十歳を過ぎた大人です。そろそろ、自分自身の生涯についてまわるカトリックの洗礼に、ここらへんで疑問を持ち、決着をつけてよいのでは?あの居心地の良さの原因を探ってみてもよいのですが?

そんな疑問が自分自身の中から自然と生まれ、青年センターでの日々の出来事を通して、その答えを探っていました。そんな2年間に感謝の意をこ

めて、これからある青少年の皆さんへ、マザー・テレサの言葉を贈ります。

あなたたちは本当に生きているイエスを知っていますか。本によつてではなく、このおのなかで彼と共にどうあるかといふことがあります。

あなたたちは、イエスが語りかけた愛情のことわざの言葉を聞いたことがありますか。めぐみを求めなさい。イエスはめぐみをけんたくて仕方がないのです。

(愛する子供たちへ マザー・テレサの遺言)「ベナレスからの手紙」より